



自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

5/13(火)

テーマ: 『実践』

出席19社19名

(美浜16、他会3、非会員0)

講師: 我孫子市倫理法人会 真仲俊雄 相談役



Toshio Manaka

真剣な表情と優しい笑顔。そのギャップが真仲氏の魅力☆

一生懸命やると、願いは叶う

真仲氏は、言う。「本当は、転職と呼べる一つの仕事を生涯続けられれば良いが、私はなかなかその仕事に当らなかった。でも、仕事は変わっても、一生懸命やると、願いは叶う」。

真仲氏の実家は、安孫子と印西の境にあり、肥料・飼料販売を行う農家だった。真仲氏も家畜飼料・飼料販売で24歳の時に独立するが、住宅の増加に伴い、今度はプロパンガス屋を立ち上げた。

一時は5000万円の借金を背負うも、利益率の高いプロパンで完済、競争が激化する前に権利を売り、36歳で始めた廃棄物の収集・運搬業は、奥様に経営を任せ、現在水道工事業を営んでいる。

真仲氏には、4つのモットーがある。

- ◎人の喜びを我が喜びとする
- ◎地域NO.1になる
- ◎友達をたくさん作る
- ◎資格をたくさん取る

「人の喜びを我が喜びに」。普通の喜びではなく、感動させるくらいの喜びを、いつも心がけている。これが、安孫子市倫理法人会会長時代の100社達成でも生きたという。また真仲氏は現在、ソーシャルダンスのインストラクター等、17の資格を持っている。そして、「友達をたくさん作る」では、色々な会に誘われた時に、積極的に参加する。倫理もその一つだったそうだ。

少しずつ実践、その積み重ねで変わる。

倫理に入会し、幹事になり、前夜幹部研修に参加した。講師・小川太郎先生は、「倫理指導を受けたい方、いませんか?」と皆に訊いてくれたが、誰も答えない。そこで、人前で話すのが苦手な真仲氏が、勇気を出して手を挙げた。

当時、真仲氏は水道工事の仕事が思うように取れず、困っていた。それを相談すると、「お墓参りはしていますか?」と訊かれた。「お彼岸とお盆は必ずしています」と答えたが、「それでは少な過ぎです。もっと行きなさい」と言われたという。

墓参りと仕事に関係あるのかと思ったが、素直にやってみた。ただ、さすがにお墓参りだけをして仕事が取れる訳がないと思った。そこで、1年前の営業では断られたが、最大手の建築会社を再び訪ねてみた。すると、「お願いします」と仕事をもらえた。その後も大手企業から、しかも下請けではない仕事が次々と入るようになった。

こんなこともあった。お孫さんが、両手を広げた3センチ大の人形をのどに詰まらせてしまい、背中を叩いたら、胃袋に落ちてしまった。急いで医者に行くと、「これは、お腹を切るしかない」と言われたが、翌日奇跡的に、自然に出てきた。

また、トイレ掃除を始めた。やってみて、気持ちがすっきりすることに気付いたが、驚いたことに、仕事をさぼったり、運転が荒かったり、経営をごまかすような社員たちが勝手に辞めてくれて、良い社員だけが残るようになった。

お客様から電話も来た。「昨日の親切・丁寧な対応に感動した。お礼を言いたい」という。翌朝の朝礼で、その対応をした社員を褒めるつもりだったが、聞いても誰も手を上げない。真仲氏は、意識せず自然にできている証拠と解釈、嬉しかった。

次々と起こる好結果に対して真仲氏は、「お墓参りの結果かは、分からない。しかし、そうだと思うことが正解だと思う」と実感語る。「人を感動させるのは、簡単なことではないが、やればできる。少しずつ実践、その積み重ねで変わる」ことを体験した。そして、「頼まれることは、試されること」。見積り依頼でも何でも、即行が大事で、一生懸命にやれば喜んでもらえる」と力強くお話してくれた。

次回 第877回MS! 5/20(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-1777)

テーマ 自主企画 参加者によるスピーチリレー!

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく